

講義名称	新島襄—その時代と生涯—	担当教員名	李 元重
科目群	教養科目 (LA) CA4・DI3		
科目区分等	外国語、体育以外の科目 (B) 選択必修	単 位	2
対象学年次	1年・春学期	ナンバリング	CLAB1301

授業のキーワード	新島襄、建学の精神、新島学園短期大学、同志社大学
授業の概要	本学創立の源泉となる新島襄の生涯、思想、信仰を理解します。新島襄の影響を受けた歴史的な人物を、現在自分の課題を見い出します。
期待される学習成果 (目標)	1. 新島襄の生涯と思想を理解します。 2. 新島襄の精神を受け継ぐ本学の理想と理念を主体的に考えます。 3. 現代社会への関心を持ち、自らの課題と繋げる試みをします。

#### 授業展開

回	テーマ	内 容
1	オリエンテーション	授業の案内、目標、進行方法、評価などを説明します。
2	新島襄が生きた時代	幕末・明治維新初期の日本と世界情勢
3	生涯1	誕生、家族、青年期の葛藤、脱国の決心
4	生涯2	船上での変化、航海、回心、アメリカでの教育
5	生涯3	岩倉使節団、大学構想、帰国後の活動
6	同志社英学校設立	設立の経緯、Davis宣教師、山本覚馬と協力者たち
7	教育と伝道	同志社を中心とする教育と日本各地の伝道活動
8	教育思想	「同志社大学設立旨意」から学ぶ教育思想
9	教育思想と信仰	前回の続きと、新島のキリスト教信仰理解
10	新島襄の死	最後の活動、遺言、葬儀、新島没後の同志社
11	弟子たち1	熊本バンドについて
12	弟子たち2	安部磯雄、深井英五、湯浅治郎など
13	弟子たち3	柏木義円、大西祝、山室軍平、石井十次など
14	次世代の継承者	新島学園を含め、新島の精神を受け継ぐ人々
15	まとめ	質疑応答、期末レポートの点検

定 期 試 験	定期試験は行いません。
授 業 時 間 外 学 習	授業中に提示される資料を読みます。期末レポートを書くために紹介される参考文献を読み解きます。
評 価 方 法	①授業への取り組み(質疑、コメントなど30%)。 ②期末レポート(30%)。
使用する教科書 (必ず購入してください)	特になし。適宜資料を配布します。
参 考 文 献	編集委員会『現代語で読む新島襄』丸善出版、2000年。和田洋一『新島襄』岩波書店、2015年。同志社『新島襄—その時代と生涯』(写真集)、1993年。